龍ケ崎市政策情報誌「未来へ」
2022年（令和4年）
3月発行
第36号
発行：龍ケ崎市
編集：市長公室企画課
TEL:0297-64-1111（代）
FAX：0297-60-1583

あすへ

＼愛宕中学校と城南中学校が統合／

4月から「龍ケ崎中学校」が誕生します！

問　教育総務課☎内線289

4月1日から、愛宕中学校と城南中学校が統合し、現在の愛宕中学校の場所に「龍ケ崎中学校」が誕生します。統合の経緯や、新しい制服などを紹介します。

「龍ケ崎中学校」誕生に向けて

中学校の現状

平成23年5月に教育委員会が策定した「龍ケ崎市立小中学校適正規模適正配置に関する基本方針」。理想的な中学校の規模は、「全ての教科の担任が配置でき、かつ、多様な教育活動ができる1学年3学級（合計9学級／学級数は普通学級）以上」と定めています。

■生徒数の変遷

学校名など		平成11年度	令和3年度	ピーク時との比較
愛宕中	生徒数	555人	186人	△66.5%
	普通学級数	15学級	6学級	△60.0%
城南中	生徒数	521人	155人	△70.2%
	普通学級数	15学級	6学級	△60.0%

※分離校（城ノ内中学校）新設後の生徒数は、平成11年度がピークとなり、それ以降は減少が続いています

市内の中学校を見てみると、愛宕中学校と城南中学校の生徒数は、ピーク時と比較して約70%減少し、現在は1学年2学級で合計6学級（普通学級）という状況となっています。

今後も両校の生徒数は減少する見込みです。

この現状を放置すると、十分な教職員の配置や部活動の維持をはじめ、中学生の充実した教育環境を維持できなくなるおそれがあります。

よりよい中学校教育のために

教育委員会では、両校に関係するPTAや地域コミュニティの方々などにヒアリングを行うなど、さまざまな角度から検討を行い、平成31年3月に「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」を策定しました。

この基本方針では、令和4年4月に愛宕中学校と城南中学校を統合することを目指し、施設は愛宕中学校の施設を使用することを基本として準備を進めることとしました。

これに基づき、両校の統合に向けた準備を円滑に進めるため、「愛宕中学校・城南中学校統合準備会」を令和元年12月に立ち上げました。

また、令和3年9月市議会で「龍ケ崎市立学校設置条例」の改正案が可決され、以下の事項を正式に決定しました。

令和4年4月1日に 愛宕中学校と 城南中学校を 統合すること	統合後の 中学校の名称を **「龍ケ崎中学校」** とすること	統合後の 中学校の位置を、 現在の**愛宕中学校の** **位置**とすること

統合へ向けた準備

「愛宕中学校・城南中学校統合準備会」は、両校の学区内の小中学校の保護者・地域の方・教職員・教育委員会の職員で構成し、主に次の内容の協議を行いました。

- ●校名、校歌、校章に関すること
- ●制服、体操服に関すること
- ●学校運営等に関すること
- ● PTA の運営などに関すること
- ●記念事業などに関すること

第１回統合準備会

令和元年 12 月～令和２年８月に会議を３回開催し、以下のとおり意見がまとまりました。

- ●統合後の校名は「龍ケ崎中学校」を候補とし、決定の手続きを進める
- ●新しい校章は、両校の校章をベースとしてデザインを検討
- ●新しい校歌は、統合後に作成を検討
- ●統合後の中学校への通学は、スクールバスを運行せず、一定の距離以上の生徒は、自転車通学とする
- ●制服・体操服、校章、学校運営、PTA 運営などは、個別に部会を設けて協議し、全体会に報告

制服・校章紹介

校章・ロゴマークや新１年生が着用する制服・体操服は、統合準備会の制服・体操服等検討部会で検討を行い、決定しました。

制服

女子用のスラックスやネクタイもあります！

体操服

体操服用のロゴマーク

ポロシャツ

夏服はポロシャツ！

校章

愛宕中と城南中のデザインをベースとした校章になっています。

閉校記念事業を各校で行いました

令和４年３月 31 日をもって 61 年の歴史に幕を閉じる愛宕中学校と城南中学校では、３月 12 日（土）に城南中学校で、13 日（日）に愛宕中学校で閉校式を開催しました。

■記念講演会

元中学校体育教師・特別支援学校教員の腰塚勇人氏による講演

■閉校式

第１部：来賓を招いての式典／第２部：生徒・PTA 中心の会

■閉校記念誌などの作成

記念誌や記念品を作成します。記念誌のダイジェスト版を、学区内の各家庭に配布

＼まずは長山中学校区で実施予定／

施設一体型小中一貫校の設置を目指して

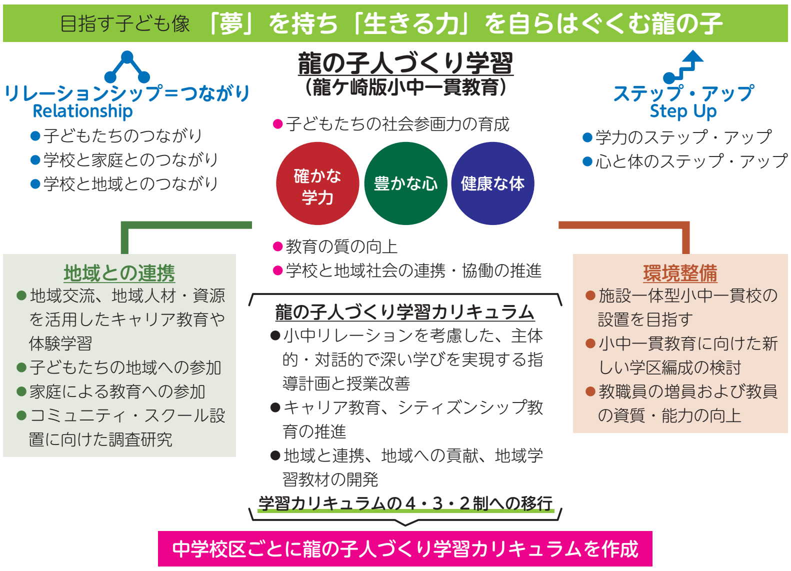
問　教育総務課☎内線 289

本市の小中一貫教育

本市では、平成 30 年３月に策定した「龍ケ崎市の新しい学校づくりに関する基本方針」に基づき、小学校から中学校へのスムーズな接続を図るとともに、児童生徒の「生きる力」を育むための社会参画力を育成するなど、龍ケ崎版小中一貫教育「龍の子人づくり学習」に取り組んでいます。

現在の本市の小中一貫教育は、小学校と中学校が離れたままの「施設分離型」で行っています。より充実した小中一貫教育とするため、将来的には、学校施設や教職員組織が一体となっている「施設一体型」の小中一貫教育の実現を目指しています。

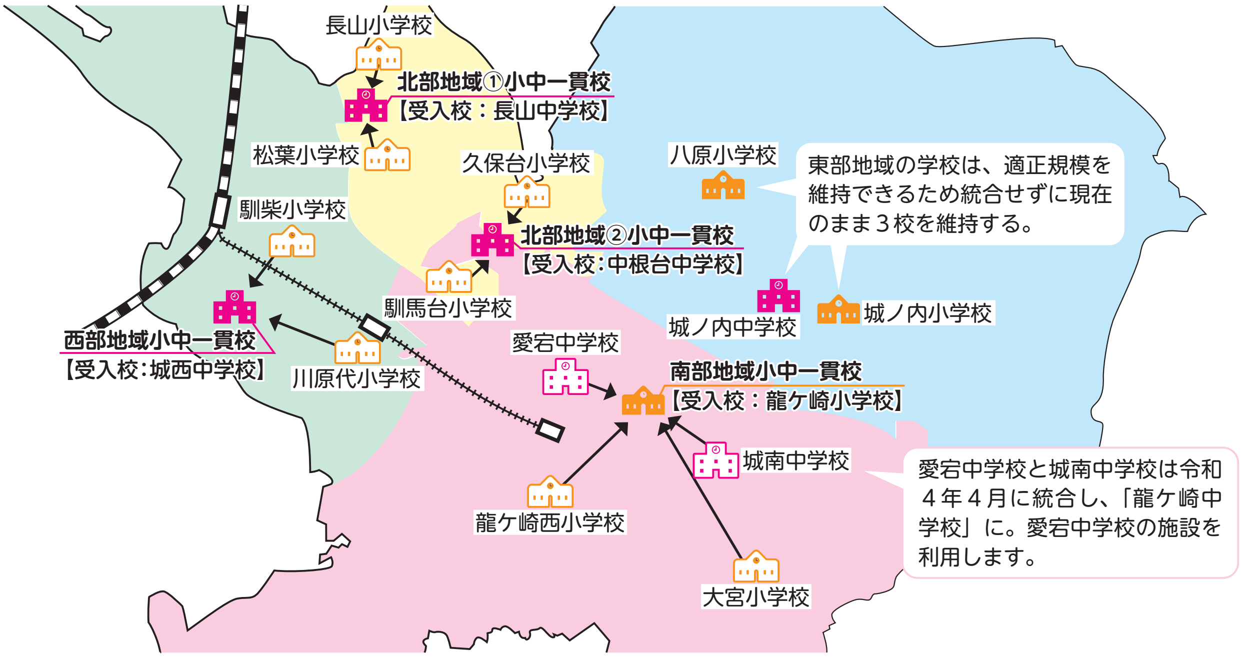
新しい学校づくりに関する基本方針（イメージ）



施設一体型小中一貫校整備に関する調査報告書

基本方針に基づき、児童生徒数の将来推計・学校施設の現状・各学校の立地などを調査・整理した上で、施設一体型小中一貫校の組み合わせや設置時期などの検討を行いました。2060 年度頃までの長期的な見通しを示す調査報告書を取りまとめ、令和２年８月に策定しました。

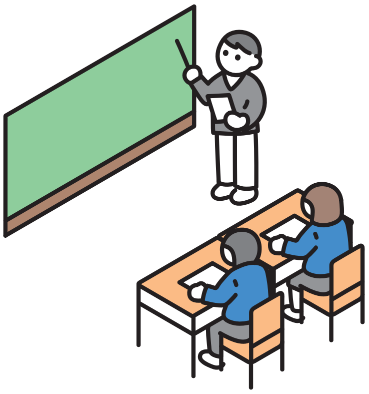
将来的な学校配置のイメージ図



施設一体型小中一貫校の設置には多額の事業費を要することとなり、学校の統合を伴うことから、同時並行的に進めることは困難で、長期的な視野で段階的に進めていかなければなりません。

そこで、まずは施設一体型小中一貫校のモデル校を設置し、モデル校での実践や成果を他の中学校区に広げていくこととしました。

長山中学校区に施設一体型小中一貫校を設置します



前述の調査報告書では、児童生徒数の減少が進む「北部地域１（長山中学校区）」と「南部地域（愛宕中学校・城南中学校区）」へ、早期に施設一体型小中一貫校を設置することが望ましいという検討結果が出ています。

このため、いずれの地域にモデル校を設置するか、決定する必要があります。

両地域の比較で、特に中学校に着目すると、「南部地域（愛宕中学校・城南中学校区）」では、令和４年４月に愛宕中学校と城南中学校が統合することで、教育環境の充実が期待されます。

一方、「北部地域１（長山中学校区）」の長山中学校は統合の予定が無く、将来的に学級数が減少する見込みです。そのデメリットの一つとして、教職員の配置が少なくなることが挙げられます。

このデメリットは、教科担任制の中学校でより深刻となるものです。施設一体型小中一貫校を設置することができれば、小学校と中学校の教職員による相互乗入授業や、合同での研修の実施が容易になるなど、教員の指導力の向上・授業力の向上などが期待されます。教職員の配置という問題を克服し、充実した教育環境を実現できるものと考えられます。

このことから、**「北部地域１（長山中学校区）」の方がより緊急性が高い**ものとし、まずは長山中学校区に施設一体型小中一貫校を設置します。

施設一体型小中一貫校に向けた取り組み

より充実した小中一貫教育の実現に向け、**長山中学校区に施設一体型小中一貫校のモデル校の設置**を目指す。

→

松葉小学校・長山小学校・長山中学校の学区内の児童生徒が、同じ敷地内の小中一貫校に通う。

設置場所

３小中学校の中で敷地面積が最も広く、中間に位置する**長山中学校**に設置。

校舎

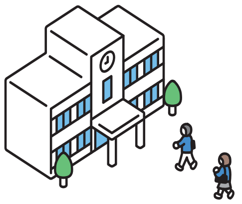
既存の建物は長寿命化改修（大規模リフォーム）を施し、不足する校舎や体育館を増築する方向で設計などの検討を行う。

施設整備の想定スケジュール

既存の敷地・建物を活用する方針のため、在校生が学校生活を送る中での施設整備になることから、段階的に進めていかなければなりません。

このため、施設一体型小中一貫校の開校は、令和９年度を見込んでいます。

年度	実施工事など
令和４年度	基本設計、劣化度調査
５年度	実施設計、プール解体
６年度	校舎・体育館増築工事
７年度	校舎・体育館増築工事、既存体育館長寿命化改修
８年度	既存校舎・体育館長寿命化改修、外構工事
９年度	**施設一体型小中一貫校開校**



この記事に関するご意見などを募集しています。二次元コードから市公式HP内「教育総務課」ページのお問い合わせフォームをご利用ください。

「健康増進・食育に関する市民アンケート」結果（概要）をお知らせします

問 保健センター☎0297-64-1039

このたび、「第２次健康増進・食育計画　健康りゅうがさき 21」の最終評価と次期計画策定の資料とするため、アンケート調査を行いました。

結果のうち主なものを抜粋してお知らせします。

今回のアンケート結果は、令和４年度中に策定を予定している、第３次「健康増進・食育計画」の策定や、今後の健康づくり事業の推進に活用していきます。

「第２次健康増進・食育計画　健康りゅうがさき 21」とは

市民の“健康寿命の延伸”と“健康格差の縮小”を目指し、「自らつくる健康・みんなでめざす豊かな健幸」をスローガンに、市が策定している計画です。

1. 生活習慣病の発症予防と重症化予防
2. 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
3. 健康を支え、守るための社会環境の整備
4. 生活習慣及び社会環境の改善
5. 歯科口腔の健康維持

これら５つの基本方針を掲げ、それぞれに設定した「重点目標」を達成するため、各種健康診査をはじめ健康に関する相談・指導・教室など、さまざまな事業を実施しています。

■**計画期間**：平成 29 年（2017 年）４月～令和５年（2023 年）年３月

アンケート調査の概要

過去の調査結果や国・県のデータとの比較、年齢別集計や他の設問とのクロス集計などを行っています。

■**調査期間**：令和３年７月６日～７月 30 日

■**調査対象**

●一般調査＝ 20 歳以上の全市民から抽出された 2,000 人（住民基本台帳から年齢別･地域別などに無作為抽出）

●小中学生調査＝市立校の小学６年生・中学３年生・計 1,276 人／県立校・私立校などの小学６年生・中学３年生・計 49 人

■**調査方法**：郵送または市立校は学校を通じて配布・回収

■**回答数**

●一般調査＝ 943 件（回収率 47.2％）

●小中学生調査＝ 1,206 件（回収率 91.0％）

■**調査項目**

●一般調査＝全 59 問【食生活・栄養／身体活動・運動／休養・こころの健康／喫煙・飲酒／歯の健康／健康状態や健康管理】

●小中学生調査＝全 38 問【運動／休養・こころの健康／喫煙・飲酒／歯の健康／食生活・栄養／薬物】

調査結果（抜粋）

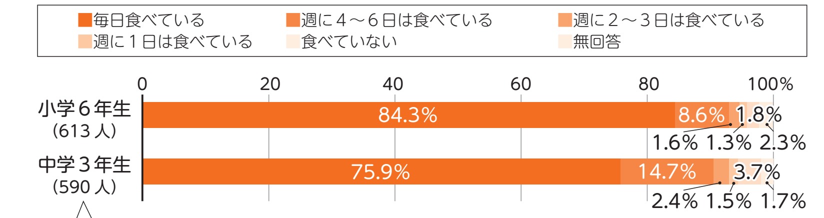
食生活・栄養について

問 朝食を食べていますか。

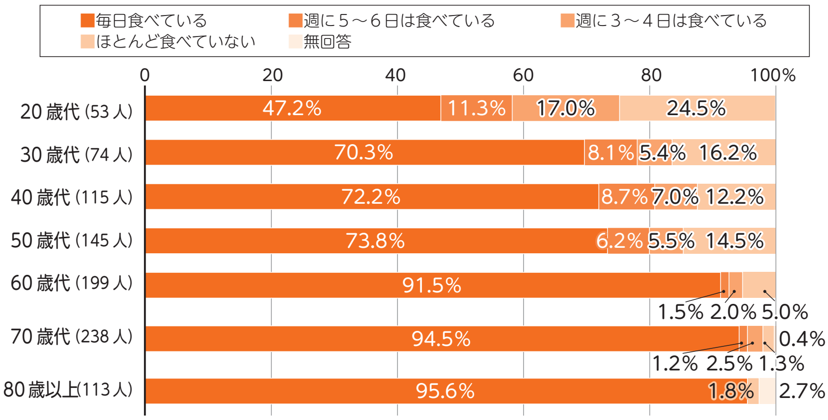
朝食を「毎日食べている」と回答した方の割合は、小学生から中学生に学年が上がるにつれて低くなり、20代ではその割合がさらに低くなっています。

私たちの脳は“ブドウ糖”をエネルギー源として使っています。朝起きたときに頭がボーッとしてしまうのは、寝ている間にブドウ糖が使われて足りなくなってしまうためです。朝食を食べないと、午前中「体は動いても頭はボンヤリ」という状態になりがちです。

また、朝食を毎日食べることは、栄養バランスの良い食生活や、規則正しい生活習慣を身に付ける観点からも、非常に重要です。朝食を食べて、脳と体をしっかり目覚めさせましょう。



小中学生に注目すると、朝食を欠食する割合や、「１人」「子どもだけ」で食事をする割合は、学年が大きくなるほど高くなっています。



「ブドウ糖」ってなに？

「ブドウ糖」は、脳がエネルギーとして利用できる唯一の物質で、人体にとって重要な栄養素です。果物や穀類に多く含まれています。

■朝食を食べてみよう

朝食を食べない理由として、「おなかがすいていないから」「いつも食べていないから」「時間がないから」といったものが多く挙げられていました。仕事の都合や家庭により、夕飯が遅い時間になってしまう・寝る時間も遅くなってしまうといったさまざまな事情があるかと思いますが、１日を元気に過ごすためにも、簡単なものから「朝食」を始めてみませんか？

入門編

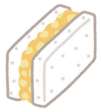
まずは、手軽に口に入るものから取ってみましょう。

- 牛乳
- ヨーグルト
- フルーツ
- 野菜ジュースなど

初級編

主食・主菜を組み合わせてみましょう。

- おにぎり＋ゆで卵
- ツナサンドなど



中級編

主食・主菜に副菜を組み合わせてみましょう。

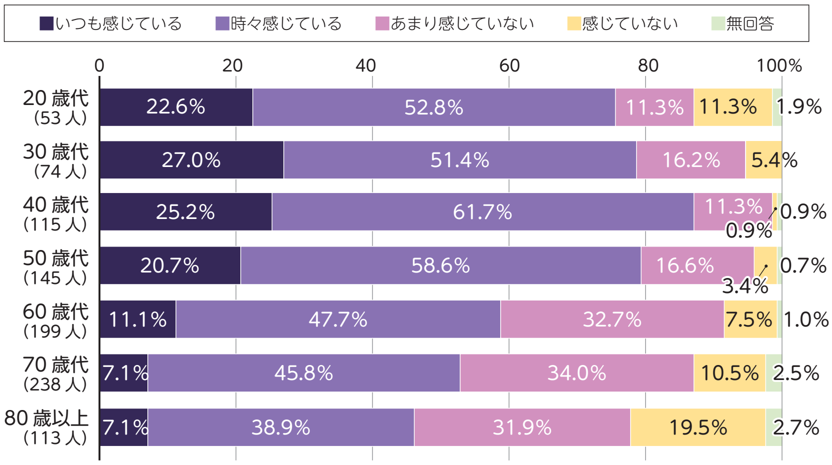
- 野菜スープ
- 具沢山のみそ汁など

休養・こころの健康について

問 最近１カ月の間に、ストレスやイライラを感じたことがありますか。

ストレスを「いつも感じている」と答えた方の割合は、20歳代～50歳代の、いわゆる現役世代で高くなっています。仕事や家庭など、さまざまな環境の負荷がかかっているのかもしれません。

「こころの健康」には多くの要素が関わっています。適度な運動や栄養バランスのとれた食生活は、体の健康だけでなく、「こころの健康」を保つ上でも、重要な基礎となるものです。さらに、十分な睡眠をとり、ストレスと上手に付き合うことも、「こころの健康」維持に欠かせないポイントです。



ストレスと睡眠の関係

アンケートでストレスを感じている頻度が高いと回答した方は、約半数が睡眠不足を自覚していました。

また、日常生活で運動ができている人とできていない人とでは、睡眠不足を「いつも感じている」の割合に、２倍程度の差が出ています。

■その症状、ストレスが原因かも。心当たりはありませんか？□に✓してみよう！

体のサイン

□寝つきが悪くなったり、夜中や早朝に目が覚める
□食欲減退、食べ過ぎ
□めまいや耳鳴りがする　など

こころのサイン

□イライラしたり怒りっぽくなる
□気分が落ち込んでやる気がなくなる
□人づきあいが面倒になる　など

時間のない人におススメ！“ながら運動”でストレス解消

●座りながら「足上げ腹筋」

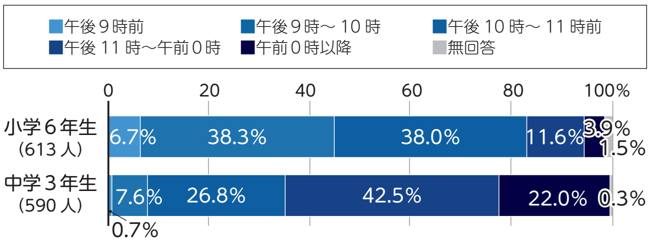
椅子に座った状態で、お腹に力を入れながら両足を床から浮かせて、10 秒ほどキープしてみましょう。足を高く上げるとより効果的に！

小中学生調査

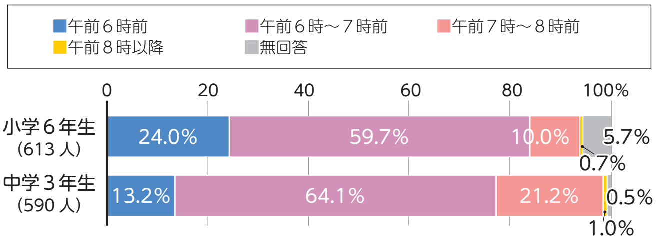
休養・こころの健康について

問 平日の寝る時間、起きる時間はいつごろですか。

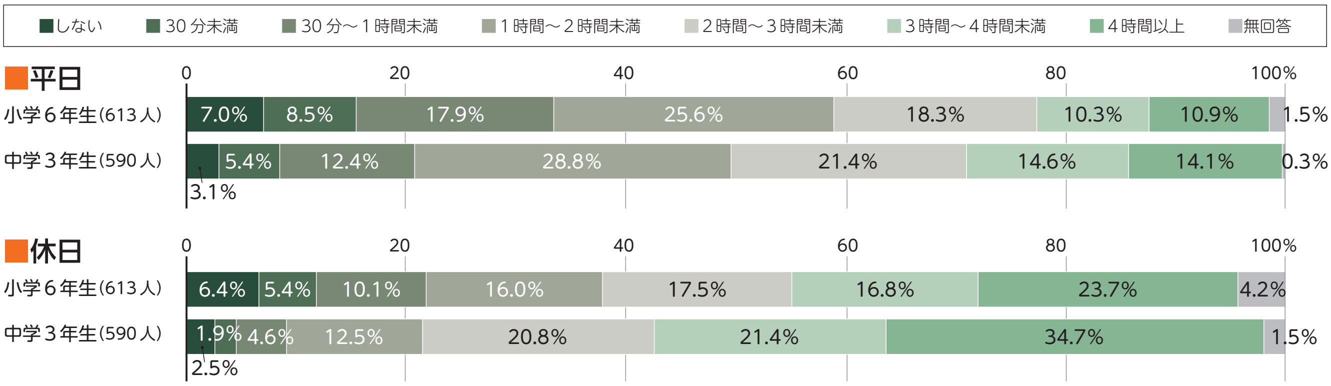
■寝る時間



■起きる時間



問 LINE・Facebook・Twitter・Instagram などの SNS やゲーム、動画配信（YouTube など）を、平日や休日に１日に合わせて、どのくらい見たりしますか。



寝る時間は、一般的に学年が大きくなるほど遅くなってきますが、前回の調査と比べると、特に小学生で遅くなっている傾向がみられます。

SNS やゲームの時間と睡眠の関係性は強く、SNS やゲームを４時間以上利用している方は、午前０時以降に寝ている割合が高くなっており、充分な睡眠時間が確保できていないことが懸念されます。

また、睡眠前の電子機器の使用は、睡眠の質を悪くすることが知られています。心身の健康維持のためにも、睡眠で適切な休養をとることが大切です。スマートフォンやゲームなどの電子機器の適切な使用について、今後も周知していく必要があります。

■スマホやゲームのルール　決めていますか？

スマホやゲームを長時間続けていると、視力の低下や睡眠の質の低下、ストレートネックによる頭痛・肩こり・めまいなど、体にさまざまな悪影響を及ぼす可能性があります。心身共に大きな成長を迎える時期である子どもたちには、その影響が大きくなるともいわれています。こうした影響を少しでも小さくするために、「ルール」を決めて遊ぶことが大切です。

大人の皆さんはいかがでしょうか？　子どもたちの前で長時間スマホやゲームに触れていませんか？

子どもたちに「ルールを守りなさい」と言っても、大人が自由にスマホやゲームをやっていては、子どもたちもルールを守らなくて当然です。大人も一緒に、スマホやゲームを適切に使えるようにしていきましょう。

ルールの例

- 平日は１時間以内、土日は２時間以内
- 宿題を全て終わらせてから使う
- １時間ごとに 10 分程度休憩し、目を休める
- ゲームはリビング（大人がいる部屋）でやる

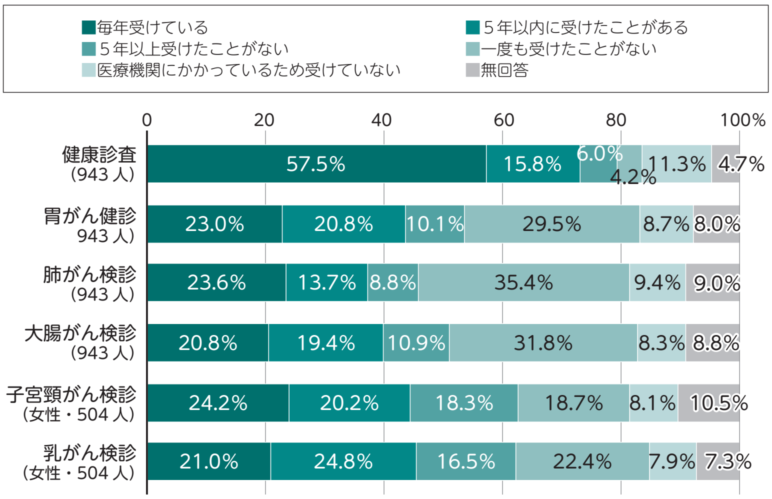
健康状態や健康管理について

問 あなたは年１回健康診査やがん検診を受けていますか。

健康診査は、60％近くの方が「毎年受けている」という回答をした一方で、各種がん検診になるとその割合は半分以下になります。項目によりばらつきはありますが、「一度も受けたことがない」と回答した方が 30％を超えるものもありました。

近年、国民の２人に１人が“がん”になり、３人に１人が“がん”で亡くなっています。しかし、定期的にがん検診を受けることで、早期発見・治療が可能となり、死亡のリスクを減らすことができます。

市ではがん検診などを行っている他、受診率の向上に向けて「がん検診無料クーポン」事業を行っています。



■早期発見･早期治療で生存率 UP　「がん検診」を受けてみませんか？

厚生労働省によると、がん検診を受けない理由として「受ける時間がないから」「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」「費用がかかり経済的にも負担になるから」が上位に来ています。

でも、本当に大丈夫ですか？

がん検診を受けることによって、胃がん検診で 40 ～ 60％、子宮頸がん検診で 80％程度、大腸がん検診で 60％程度の死亡率減少効果が証明されているとしています。「もっと早く検査を受けておけば…」という後悔をしないよう、早期発見・早期治療に向けてまずは１度、がん検診を受けてみませんか？

「がん検診無料クーポン」事業って？

一定年齢に達した方を対象に、がん検診が無料で受けられる以下のクーポン券を発送しています。詳しくは保健センターまでお問い合わせください。

- **40 歳の方**
  大腸がん・胃がん検診無料クーポン
- **20 歳の女性の方**
  子宮頸がん検診無料クーポン
- **40 歳の女性の方**
  乳がん検診無料クーポン

評価・分析

今回の調査結果では、項目によって、平成 28 年度末の計画策定時に設定した目標値を達成できたもの、目標値には及ばなかったものの改善傾向がみられたもの、策定当時の状況より悪化していたものなど、さまざまな結果が出てきました。

悪化が見えた項目については「重点ポイント」として特に注意し、改善を図るための対策を実施していきます。

私たちがいつまでも元気に暮らしていくためには、定期的な健康診査の受診や、適度な運動・バランスの取れた食事・十分な睡眠時間の確保など、健康的な生活習慣の積み重ねが大切です。

次期「健康増進・食育計画」の策定にあたっては、今回の調査結果等を踏まえ、市民の皆さんの“自主的な健康づくり”を支援していくための、さまざまな施策について検討していきます。

【参考】農林水産省 HP ／厚生労働省 HP